

虫刺され



小さい子どもほど強い反応がでる

虫刺されは2～6歳の子どもの多く、蚊、ハチ、ダニ、ブヨ、ムカデなどが多いです。子どもの虫刺されは、大人より症状がひどく、長引きやすいのが特徴です。蚊に刺されることを繰り返すと次第に免疫ができて体が慣れるため、小さい子どもほど強い反応が出ます。一方で、ハチやムカデは刺されているうちに抗体ができ、次に刺されたときにアナフィラキシーを起こすことがあります。

おうちケアの ポイント

Point

かゆみを抑える

ムカデのときは
無理にとらず
受診しよう!!

1 石鹸などでよく
洗って流水で流す



2 患部を氷のうなどで
しっかり冷やす。



3 かゆみ止めの
軟膏を塗る



4 かゆみが強い場合
には抗ヒスタミン薬
の飲み薬が効く
ことも。



5 じんましん、息苦しい、めまい、
嘔吐など全身症状を伴う場合には
急いで病院で
受診!



皮膚科 か 小児科 へ!



虫刺され

P26 じんましん



虫よけ

主成分：ディート



6ヶ月未満



- 年齢制限あり
- 30%濃度のもは6～8時間有効
- 6ヶ月未満の乳児は使用不可
- 6ヶ月～2歳未満は、1日1回
- 2歳～12歳未満は、1日1～3回

主成分：イカリジン

- 年齢制限なし
- 塗る回数に制限なし
- イカリジン15%濃度のもは6～8時間有効



成分表示を見て確認



ひやけ止め



虫よけの川貝でぬろう!

薬や日焼け止めに塗っている場合、その上に虫よけを塗ろう。

清潔に

汗をふく

汗は虫刺されの部位を悪化させます。

汗はこまめに拭き取り、シャワーを浴びましょう。



つめを切る

虫刺されはかき壊すと悪くなり、とびひの原因にもなるので子どもの爪の手入れも念入りに!



服装



白っぽい服



花模様のある服や黒い服を避ける

ハチを追い払う行動(殺虫剤やスプレー)は興奮させるのでしない!

ハチの巣に近づかない

薄手の長そでシャツ、靴下などを着用して手足を露出しない

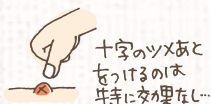
野山に入るときはシャツの裾はズボンに入れズボンの裾に靴下をかくせる

むやみにヤブに入らない





小さい子どもの場合、
刺されてすぐより1〜2日後に大きく腫れます。
特に1〜3歳は大人より強く腫れ、5〜7日ほど続きます。
その間にかき壊してとびひの原因になることもあります。
アトピーの子どもは特に症状が強く出ます。



改善
まで

約5〜7日

予防

▶ 虫よけを使う

▶ 蚊取り線香（喘息がある人は煙に注意）

蚊アレルギー（蚊刺過敏症）



38℃

蚊に刺されたときに38℃以上の熱や、リンパ節の腫れ、刺された場所に潰瘍ができた場合には病院で詳しく検査を。

蚊を媒介にする感染症

ヒトスジシマカによるデング熱や
コガタカイエカによる日本脳炎など
があります。



山林の草むらなどに生息し、
林間学校やアウトドアなどで刺されます。
太ももから足首を刺されることが多いです。
都会の大人も体がブヨに慣れていない
場合が多く、症状は強く出ます。
刺された直後は刺し口が出血します。水ぶくれになることも。



太もも
から
足首



ハチ



刺された直後から数時間以内に
赤みや腫れ、痛みが出ます。
数日でよくなります。

改善
まで

数日

予防

- ▶ ハチの巣に近づかない
- ▶ 不必要に藪の中に入らない
- ▶ ハチを追いかけて刺激しない
- ▶ 白っぽい服を着て、花模様や黒い服を避ける



「ハチが
めいめるがも
しれないので
石けんでき
洗おう。」



アナフィラキシーに注意!



以前ハチに刺されたことのある人が再度同種のハチに刺されると
ショックを起こすことがあり、アナフィラキシーといえます。

初めて刺されたときに起こることもあり、

刺されて30分以内に起こることが多いです。

刺されたあとで吐き気、めまい、じんましん、息苦しいなど症状がある場合は、

座って休むのではなく、周囲の人に相談してすぐに病院に行ってください。

1回アナフィラキシーを起こしたり、刺された部分の反応が異常に強い場合は、

次に刺されたときにアナフィラキシーを起こすリスクが高いです。

これらの場合はエピネフリン自己注射用キット（エピペン）を処方してもらう必要があります。

スズメバチは集団で攻撃してくるので、一度にたくさんの場所を刺されると誰でも
アナフィラキシーショックを起こすことがあります。

吐き気



めまい



じんましん



息苦しい



すぐに病院へ!





太ももから下を刺されることが多いが、子どもはひざ上も刺されることがあります。数mmの小さな発疹がたくさんでき、かゆみと赤みが強く、水ぶくれになることも。2〜3日でよくなり、1週間もすれば発疹は消えます。



改善
まで

約3〜7日

予防

- ▶ ペットのノミの駆除（駆除シャンプーなど）
- ▶ ネコとの濃厚接触は避ける



イエダニ
ツメダニ



家の中

寝ている間に布団の奥から出てきて、特に子どもの柔らかい皮膚を刺します。かゆみは1週間くらい続きます。

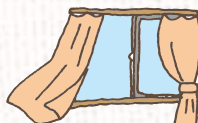
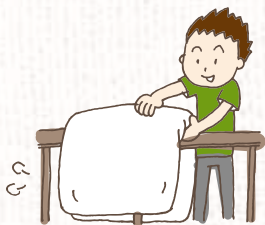
特に注意! 6〜9月

改善
まで

約7日

予防

- ▶ 天気のいい日に布団を干す
- ▶ 部屋の換気
- ▶ こまめに掃除機



マダニ



ツツガムシ

ツツガムシは刺されてもわからない



里山

ともに野山に生息するダニの一種。鹿や猪などが出る山や民家の裏山、畑、あぜ道に生息しています。命にも関わる重い病気を引き起こすことがあり、注意が必要。数週間は体調の変化に注意しましょう。ツツガムシは非常に小さく、刺されてもわかりません。野山に出かけて1〜2週間以内に高熱、全身の発疹が出た場合には病院へ（刺し口があると診断がつきやすいですがわかりにくいこともあります）。

春〜初夏・秋

2〜3mm 1cm
マダニ → 吸血後

病院へGo!!

マダニは取り除かず皮膚科へ!



33

改善
まで

数週間は注意

予防

- ▶ むやみに藪の中に入らない
- ▶ 野山に入るときは肌の露出を少なく
- ▶ マダニがわかりやすいよう白っぽい服装
- ▶ 現場と入浴時にダニチェック
- ▶ 虫よけを使う（ただしツツガムシにはディートのみ効果あり）

